

宮城ブロック協議会
みやぎJCアカデミー委員会
閉校式

アカデミー生発表資料

一般社団法人さくら青年会議所
平間 俊博



事業名

「まち×ひと」

～住み続けられるまちづくりを～



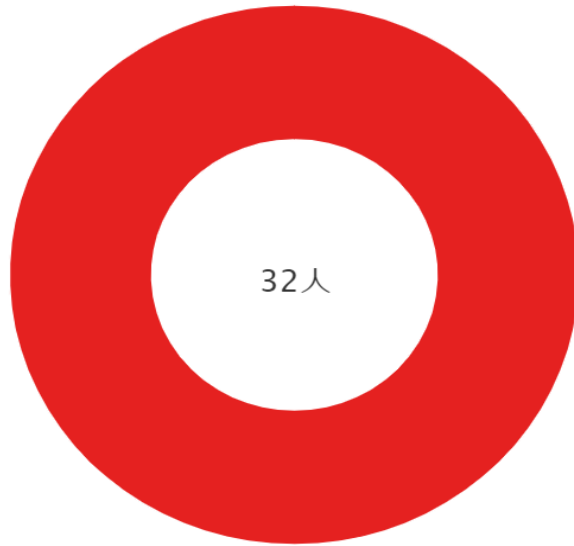
1. 事業実施に至る背景 (抽出した地域の問題点)

- ・ 地方、地域からの流動人口が多く、定住人口が減ることで地域の活力が低下しております。我々は流動人口に上昇に歯止めをかけ、将来にわたって住みよいまちづくりを行っていくことが喫緊の課題となっております。



転入超過数内訳

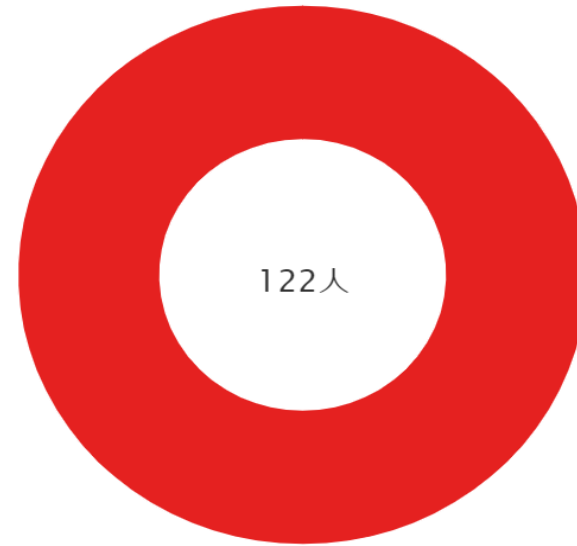
総数



● 1位 その他 32人 (100.00%)

転出超過数内訳

総数



● 1位 その他 122人 (100.00%)

総務省「住民基本台帳人口移動報告」(柴田郡川崎町)



2. 事業の目的・対象者

●事業の目的

・ 出産、子育て世代が将来を見据え、住み暮らすことのできる地域にしていくことを目的とします。

●事業対象者

対象地域の出産子世代及び、育て世代



3. 具体的手法

■スーパーや保育園などに子育て世代を対象としたアンケートを設置していただきます。

・内容

出産の環境（産婦人科や、
病院の設備）について行政
に求めたいことは？

育児の環境（保育施設や、
学校施設について行政に求めて
いきたいことは？

その他の要望を自由記載

※本来であれば街頭アンケートを実施が好ましいがコロナ対策で、BOX 設置をさせていただきます。



■ アンケートを集計し行政へ提出する。

- ・ 記入していただいたアンケートを集計。
- ・ 集計したアンケートを行政に持ち込み、行政との（町の担当課）意見交換会を実施する。
- ・ 提言書を作成し提出



4. 連携することができるパートナー

- 地域の行政
- 出産、子育て世代の地域住民



5. 事業実施による効果

- ・ありのままの民意を直接行政に訴えかけることにより、今まで以上に出産や育児に対する行政の考えや動きが活発化し、子育て世代がより住みよい「まち」になることが期待でき、さらに流動人口が減少、定住人口が増加し、持続可能な笑顔あふれる地域の実現につながります。

